

別冊 2

第五次中期 3 か年計画書（案） （令和 5 年度～令和 7 年度）

青森県農業信用基金協会

目 次

1. 現状と課題		1
2. 基本方針		2
3. 計画期間		2
4. 重点実施事項		2
※ 数値計画		
(事業計画)		4
(損益計画)		5
(財務計画)		6

1. 現状と課題

農業を取り巻く環境は、農業人口の減少、高齢化の進行、担い手や労働力の不足等の構造的な課題を抱えるとともに、ウクライナ情勢の長期化による燃油、飼料、肥料等、生産資材の高騰が生産コスト上昇を招いており、今後、輸入依存からの転換や適正な販売価格の形成など新たな課題への対応を含め、農家経済への先行き不安が懸念されます。

系統信用事業においては、「J Aバンク青森中期戦略（2022～2024 年度）」において、「農業」、「くらし」、「地域」の領域で金融仲介機能発揮を掲げ、貸出の強化に取り組んでいます。

農業信用保証保険制度にあつては、農業融資活性化のため、担い手に対する資金供給の更なる円滑化及び銀行等その他機関との連携強化が求められています。

当協会は、経営基盤強化・健全性確保を計画的に進めるため、平成 23 年度から令和 4 年度まで 4 度の中期 3 か年計画を設定し実践してまいりました。

令和 2 年度から 4 年度までの第四次中期 3 か年計画期間中の実績について、保証引受額が 300 億 4 百万円と計画を 51 億 4 百万円上回ったこと等から、保証残高は 444 億 16 百万円と計画を 48 億 34 百万円上回るとともに、計画期間中においては 53 億 34 百万円増加し 3 期連続での増加となりました。

また、代位弁済が 88 百万円と計画を 1 億 31 百万円下回ったこと等から、求償権残高は 4 億 51 百万円と計画を 1 億 98 百万円下回るとともに、計画期間中においては 1 億 48 百万円減少し 3 期連続での減少となりました。

一方、当期利益金は、保証基盤が改善しているため、1 億 9 百万円と計画を 94 百万円上回りました。

これらの結果、当協会の課題は、保証残高の積み上げ、資産運用の効率化による安定した収入の確保と諸費用の節減による損益の均衡維持であり、そのための継続的な取り組みが必要となっています。

以上、当協会を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、県内系統唯一の公的保証機関として J A 並びに農業者等の負託に応えていくためには、経営基盤強化・健全性確保を計画的に進めていかなければなりません。

このため、令和 5 年度を初年度とする第五次中期 3 か年計画を設定し、会員各位並びに関係機関のご理解とご支援を賜り、損益均衡・基金増強といった経営の健全化に取り組んでまいります。

2. 基本方針

農業者等に対する貸付についてその債務を保証し、もって農業の生産性の向上を図り、農業経営の改善に資するという、当協会の社会的責任を全うするため、財務基盤の強化・収益性の確保・業務運営態勢の強化を図り、信用事業の補完的機能を発揮してまいります。

3. 計画期間

令和5年度～令和7年度までの3か年とします。

4. 重点実施事項

(1) 保証引受

融資機関や行政等関係機関との連携により、農業者及び融資機関のニーズを的確に把握し、保証機能を充実させるとともに、適正な保証審査により健全な保証実残高の維持・増加を図ってまいります。

《具体的実施事項》

- ① J Aバンクと各種情報の共有に努め保証機能の充実に取り組みます。
- ② J A役職員との情報交換に努め保証依存率の維持・向上に取り組みます。
- ③ ホームページ等を活用した広報活動により協会利用の周知に取り組みます。
- ④ 融資機関と連携し徴求書類や事務処理等の改善に取り組みます。
- ⑤ 新規事業資金・負債整理資金・大口資金等ハイリスク案件の引受審査の厳格化に取り組みます。
- ⑥ 指導班会議、実績検討会により経営改善の指導に取り組みます。
- ⑦ 大口保証先の実績把握に取り組みます。
- ⑧ J A等融資機関担当者向けの研修会開催に取り組みます。
- ⑨ 関係機関による保証料助成措置、保証料率複数化等による農業資金の保証料軽減等に取り組みます。
- ⑩ 銀行等及び県信用保証協会との連携により債務保証利用の普及推進に取り組みます。

(2) 代位弁済・求償権回収

融資機関との連携、審査の厳格化及び期中管理強化により代位弁済の未然防止に努めるとともに、求償先ごとの回収方針に基づく入金管理の徹底及び適正な償却を図ってまいります。

《具体的実施事項》

- ① 保証先との面談、実績検討会、指導班会議への出席等により期中管理に努め代位弁済の未然防止に取り組みます。
- ② 融資機関を交えた保証先との事前面談により保証先の状況等を把握し、適正な代位弁済に取り組みます。
- ③ 求償先との面談・協議により回収方針を決定するとともに、入金管理の徹底に努め回収の強化に取り組みます。
- ④ 誠意の見られない求償先に対しては法的手続、県外居住者及び償却先については、サービサーによる回収に取り組みます。
- ⑤ J A等融資機関担当者向けの研修会開催に取り組みます。
- ⑥ 償却基準に該当する求償権の償却を行い財務の健全化に取り組みます。

(3) 財務基盤・損益

健全性の確保・維持に努めるとともに、安定した収益確保のため、資産運用の効率化、経費支出の管理徹底等により、単年度の黒字確保を図ってまいります。

《具体的実施事項》

- ① 自主基準の設定、評価及び経営点検により健全性の確保に取り組みます。
- ② 基金の増強、諸引当金の適正繰入及び不健全債権の償却により財務の健全化に取り組みます。
- ③ 資産運用は預金・有価証券運用委員会の方針等を決定し、定期預金の満期分散を図りながら、有価証券による運用に取り組みます。
- ④ リスクに応じた保証料率の見直し、経費支出の管理徹底、求償権引当費用の圧縮等により損益の均衡に努め単年度の黒字確保に取り組みます。

(4) 業務運営体制

内部牽制機能の発揮、コンプライアンスの遵守及び個人情報保護への対応を強化し、不祥事の未然防止及び事務の堅確性確保等を図ってまいります。

《具体的実施事項》

- ① コンプライアンス・プログラムの策定と実践によりコンプライアンスの遵守に取り組みます。
- ② 公認会計士監査、監事監査並びに内部点検により内部牽制の適正な運用に取り組みます。
- ③ 業務の質や量に応じた業務運営体制の効率化に取り組みます。
- ④ 不祥事への対応、反社会的勢力への対応、苦情への対応を適切に行うため、マニュアルの順守に取り組みます。
- ⑤ 人材の確保及び育成に取り組みます。

(事業計画)

(金額単位：百万円)

区 分		4 年度実績	5 年度	6 年度	7 年度
債 務 保 証	1. 引受額	9,379	8,300	8,500	8,700
	近代化資金	539	500	550	600
	一般資金	8,840	7,800	7,950	8,100
	2. 残高	44,416	44,516	44,716	45,016
	近代化資金	2,180	2,033	1,995	2,048
	旧農業改良資金及び旧就農支援資金	16	5	1	-
	一般資金	42,219	42,477	42,719	42,967
	3. 実残高	43,582	43,698	43,898	44,198
	近代化資金	2,180	2,033	1,995	2,048
	旧農業改良資金及び旧就農支援資金	16	5	1	-
	一般資金	41,385	41,660	41,902	42,150
求 償 権	1. 代位弁済	34	70	70	80
	近代化資金	-	1	-	-
	一般資金	34	68	70	80
	2. 回収金	48	31	25	27
	近代化資金	0	0	0	0
	一般資金	48	30	24	26
	3. 償却額	26	15	15	20
	近代化資金	-	0	-	-
	一般資金	26	14	15	20
	4. 残高	451	475	505	538
	近代化資金	1	1	1	1
	一般資金	450	474	504	537
基 金	1. 造成額	0	6	7	7
	出資金	3	5	6	6
	交付金	△ 4	1	1	1
	繰入金	-	-	-	-
	2. 残高	3,487	3,494	3,501	3,508
	出資金	2,308	2,314	2,320	2,326
	交付金	449	450	451	452
	繰入金	729	729	729	729

(注) 1 金額は単位未満を切り捨てて表示しており、合計に不突合があります。

2 金額が0円のものは「-」、単位未満(マイナス含む)のものは「0」と表示しています。

3 基金のうち、出資金には、独立行政法人農林漁業信用基金へ出資するために青森県から出資された特別出資金 7,720千円を含んでいません。

(損益計画)

(金額単位：千円)

区		分	4 年度実績	5 年度	6 年度	7 年度
収 益 の 部	事業 収入	1. 保証料	138,011	139,000	139,000	140,000
		2. 求償権利息及び貸付金利息	9,856	8,500	7,500	7,000
		小 計	147,867	147,500	146,500	147,000
	その他 収益	1. 保険金	17,035	47,569	35,797	49,910
		2. 交付金	2,089	1,300	1,000	1,000
		3. 利子補給金	95	94	95	95
		4. 受取助成金	8,105	6,000	6,000	6,000
		5. 雑収益	152	100	100	100
		小 計	27,478	55,063	42,992	57,105
	財務 収益	1. 受取利息	1,842	1,522	1,391	1,343
		2. 有価証券利息	17,737	20,027	21,617	22,817
		3. その他の財務収益	-	-	-	-
		小 計	19,580	21,550	23,009	24,161
	特別 利益	1. 償却債権取立益	933	-	-	-
		小 計	933	-	-	-
	収 益 合 計			195,859	224,113	212,501
費 用 の 部	事業 費用	1. 事業直接費	6,750	9,550	10,050	9,550
		2. 事業管理費	92,556	97,599	98,954	101,855
		小 計	99,306	107,149	109,004	111,405
	その他 費用	1. 保険料	37,571	38,000	38,000	38,000
		2. 再保証料	6,432	8,000	8,000	9,000
		3. 保険納付金	34,715	21,347	15,572	17,084
		4. 保険金等返還金	7,248	1,270	1,300	1,300
		5. 再保証納付金	516	537	554	660
		6. 支払準備金繰入・戻入（△）	△ 28,558	22,210	14,299	19,957
		7. 保証責任準備金繰入・戻入（△）	6,379	6,949	6,083	5,301
		8. 求償権償却引当金繰入・戻入（△）	△ 13,367	2,497	4,369	4,220
		9. 債務保証損失引当金繰入・戻入（△）	△ 175	104	110	129
		10. 特別準備金及び特別支援金繰入・戻入（△）	-	-	-	-
		11. 求償権償却費	21,380	14,740	13,500	20,000
		12. 貸倒引当金繰入・戻入（△）	-	-	-	-
		13. 特定引当金繰入・戻入（△）	-	-	-	-
	小 計	72,141	115,654	101,787	115,651	
	財務 費用	1. 支払利息	106	110	110	110
		小 計	106	110	110	110
		小 計	-	-	-	-
	費 用 合 計			171,554	222,913	210,901
当 期 利 益 金			24,305	1,200	1,600	1,100

(注) 1 金額は単位未満を切り捨てて表示しており、合計に不突合があります。

2 金額が0円の場合は「-」、1円以上単位未満のものは「0」と表示しています。

(財務計画)

(金額単位：百万円)

区 分		4 年度実績	5 年度	6 年度	7 年度	
資 産 の 部	流動資産	1. 現金及び預金	3, 587	3, 036	2, 766	2, 485
		2. 前払費用	0	0	0	0
		3. 未収収益	14	12	12	12
		4. その他流動資産	7	8	8	8
		小 計	3, 609	3, 056	2, 787	2, 505
	固定資産	1. 有形固定資産	0	0	0	0
		2. 無形固定資産	-	-	-	-
		3. 投資有価証券	1, 918	2, 499	2, 801	3, 103
		4. 外部出資金	99	99	99	99
		5. 求償権	451	475	505	538
		6. 求償権償却引当金	△ 47	△ 49	△ 54	△ 58
		7. その他資産	6	8	7	6
小 計	2, 429	3, 034	3, 360	3, 690		
保 証 債 務 見 返		43, 582	43, 698	43, 898	44, 198	
資 産 合 計		49, 621	49, 790	50, 046	50, 395	
負 債 ・ 資 本 の 部	流 動 負 債	1. 短期借入金	154	415	165	423
		2. 前受収益	691	710	720	730
		3. 未払費用	4	4	4	4
		4. 賞与引当金	2	2	2	3
		5. その他流動負債	3	0	0	0
		小 計	857	1, 134	893	1, 161
	固 定 負 債	1. 長期借入金	415	154	415	154
		2. 支払準備金	752	774	790	813
		3. 保証責任準備金	163	170	176	182
		4. 債務保証損失引当金	38	38	38	38
		5. 退職給付引当金	35	39	43	49
		6. 特定引当金	-	-	-	-
		7. 特別準備金・特別支援金	52	52	52	52
		8. 求償債務	39	36	40	41
		9. その他固定負債	1	-	-	-
		小 計	1, 498	1, 266	1, 558	1, 332
	保 証 債 務		43, 582	43, 698	43, 898	44, 198
	負 債 合 計		45, 937	46, 100	46, 350	46, 692
	資 本	1. 出資金	2, 316	2, 322	2, 326	2, 331
		2. 繰入金	729	729	729	729
		3. 準備金	613	637	638	640
		4. 当期利益金	24	1	1	1
	資 本 合 計		3, 683	3, 690	3, 696	3, 702
	負 債 ・ 資 本 合 計		49, 621	49, 790	50, 046	50, 395

(注) 1 金額は単位未満を切り捨てて表示しており、合計に不突合があります。

2 金額が0円のものは「-」、1円以上単位未満のものは「0」と表示しています。